

# 野村・グリーン・テクノロジー・ファンド

## 運用報告書(全体版)

第9期(決算日2018年6月18日)

作成対象期間(2017年6月20日~2018年6月18日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
なお、当ファンドは、運用開始以来永らくご愛顧いただきましたが、2019年6月18日に信託期間満了となります。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2009年6月24日から2019年6月18日までです。	
運用方針	野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として世界各国(新興国を含みます。)のグリーン・テクノロジー企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村・グリーン・テクノロジー・ファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	世界各国(新興国を含みます。)のグリーン・テクノロジー企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村・グリーン・テクノロジー・ファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金	み騰	騰落	騰落			
	円	円	率		率	%	%	百万円
5期(2014年6月18日)	13,188	560	30.3	141.54	44.3	97.1	—	2,860
6期(2015年6月18日)	14,726	700	17.0	172.99	22.2	92.0	—	2,601
7期(2016年6月20日)	10,623	120	△27.0	131.99	△23.7	94.6	—	1,694
8期(2017年6月19日)	12,419	500	21.6	169.40	28.3	97.2	—	1,647
9期(2018年6月18日)	12,550	460	4.8	186.73	10.2	97.3	—	1,554

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数(=FTSE ET50インデックス(Total Return Index/円換算ベース))は、FTSE ET50インデックス(Total Return Index/ドルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。設定時を100として指数化しております。  
\*FTSE ET50インデックスは、FTSEの商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利はFTSE及び/又は、そのライセンス提供者に帰属します。  
(出所: FTSE、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	騰落	率		
(期首) 2017年6月19日	12,419	—	169.40	—	97.2	—
6月末	12,489	0.6	171.25	1.1	97.2	—
7月末	12,572	1.2	172.39	1.8	96.2	—
8月末	12,436	0.1	172.90	2.1	96.1	—
9月末	13,016	4.8	182.55	7.8	96.9	—
10月末	13,365	7.6	187.17	10.5	97.8	—
11月末	13,174	6.1	185.01	9.2	99.0	—
12月末	13,468	8.4	189.19	11.7	95.6	—
2018年1月末	13,425	8.1	190.40	12.4	96.7	—
2月末	12,980	4.5	182.92	8.0	97.7	—
3月末	12,348	△0.6	172.03	1.6	98.0	—
4月末	12,578	1.3	176.27	4.1	98.9	—
5月末	12,581	1.3	177.59	4.8	98.3	—
(期末) 2018年6月18日	13,010	4.8	186.73	10.2	97.3	—

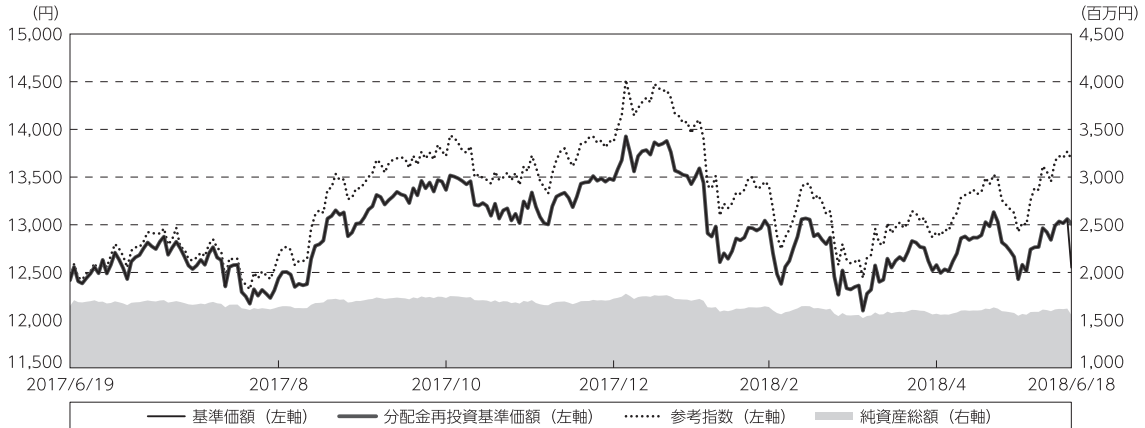
\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年6月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、FTSE ET50インデックス(Total Return Index/円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2017年6月19日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首12,419円から期末12,550円となりました。

- ・2017年9月、トランプ米政権の税制改革案の発表やECB(欧州中央銀行)による2017年のユーロ圏経済見通しの上方修正などが好感され、株式市場が上昇したこと。また為替市場で、米利上げ観測の高まりやECBの金融緩和策の縮小観測を背景に、為替レートが主要通貨に対して円安となったこと。
- ・10月、堅調な欧米企業決算や米税制改革への期待感の高まり、さらにはECBが量的金融緩和の縮小を慎重に進める姿勢を見せたことなどが好感され、株式市場が上昇したこと。
- ・12月、市場予想を上回る米雇用統計や米税制改革法案成立への期待感を受け、株式市場が上昇したこと、ドル高・円安となったこと。また、ドイツによる2018年の国債増発計画の発表などを背景に欧州長期金利が上昇し、ユーロ高・円安となったこと。

- ・2018年2月、米長期金利が上昇したことや株式の価格変動率が高まったことを背景に投資家心理が悪化し、株式市場が下落したこと。また為替市場で、世界的な株安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、ECBの金融政策の正常化に対する慎重な姿勢や欧州政治情勢の先行き不透明感を背景に、為替レートが主要通貨に対して円高となったこと。
- ・3月、米中貿易摩擦への懸念や3月のユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が市場予想を下回ったことを受け、株式市場が下落したこと。また為替市場で、米通商・外交政策への不透明感の高まりから、為替レートが主要通貨に対して円高となったこと。

## ○投資環境

期中の世界株式市場は、米税制改革法案や貿易摩擦を巡るトランプ米大統領の政権運営や、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策に左右される展開となりました。

為替市場では、期を通じては、米ドルに対して円高となる一方、ユーロに対しては円安となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

主要投資対象である〔野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れました。

### 〔野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド〕

#### ・株式組入比率

株式への投資比率は概ね高位の組み入れを維持しました。

#### ・期中の主な動き

- (1) 世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー企業※の株式を実質的な主要投資対象として参りました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、企業の成長性・収益性などの観点から定性評価に基づくファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行い、投資銘柄を選別し、また、バリュエーション（投資価値評価）、流動性等を考慮し、ポートフォリオを構築して参りました。
- (3) 米国の電子部品メーカーの株式を新規に買い付けした一方、スペインの発電所運営会社の株式を全売却しました。

※なお、当ファンドにおいて、グリーン・テクノロジー企業とは、環境保全に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業を指します。

### 〔野村・グリーン・テクノロジー・ファンド〕

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持し、当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

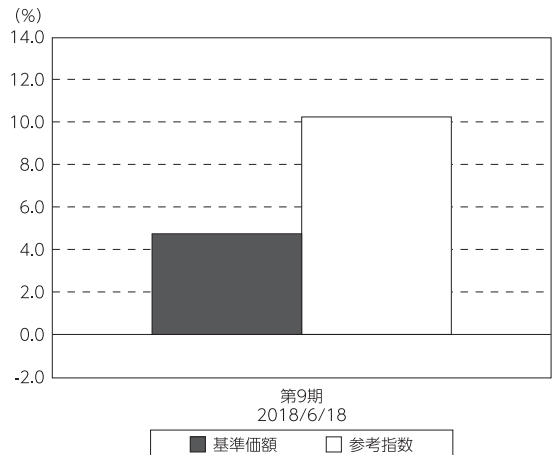
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているFTSE ET50インデックス（Total Return Index/円換算ベース）の10.2%の上昇に対し、基準価額の騰落率は4.8%の上昇となりました。

### （主な差異要因）

- ・オーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていた米国の半導体製造メーカーの株式が、市場を下回って推移したことがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、FTSE ET50インデックス（Total Return Index/円換算ベース）です。

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり460円の収益分配を実施いたしました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第9期
	2017年6月20日～ 2018年6月18日
当期分配金	460
（対基準価額比率）	3.536%
当期の収益	102
当期の収益以外	357
翌期繰越分配対象額	3,925

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド]

- ・当ファンドは、環境配慮型エネルギー、環境汚染防止、清浄な水資源といった3つの主なテーマに基づき様々なグリーン・テクノロジーをテーマとする銘柄に投資します。
- ・これらの関連分野で長期的な恩恵を受ける実績のある技術を主導し、助成金に頼らない企業に投資することを継続します。なかでも、自動化やエネルギー効率化、排ガス規制などの投資テーマに一致する銘柄を選好していきたいと考えています。
- ・また、トレンドのみに追随することなく、長期的な観点から個別企業のファンダメンタルズとバリュエーションを注視しつつ、慎重に銘柄選択を行っていきます。

### [野村・グリーン・テクノロジー・ファンド]

主要投資対象である [野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年6月20日～2018年6月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 236	% 1.831	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(122)	(0.948)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(104)	(0.808)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 10)	(0.075)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.013	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 2)	(0.013)	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用	9	0.069	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 8)	(0.065)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	247	1.913	
期中の平均基準価額は、12,869円です。			

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年6月20日～2018年6月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド	千口 48,471	千円 83,885	千口 169,438	千円 295,350

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2017年6月20日～2018年6月18日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村・グリーン・テクノロジー・ファンド	マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額		458,374千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		1,610,619千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		0.28

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年6月20日～2018年6月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年6月18日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド	995,795	874,829	1,541,536

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2018年6月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド	1,541,536	94.6
コール・ローン等、その他	88,297	5.4
投資信託財産総額	1,629,833	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（1,610,232千円）の投資信託財産総額（1,611,561千円）に対する比率は99.9%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.57円、1英ポンド=146.65円、1スイスフラン=110.85円、1ノルウェークローネ=13.56円、1デンマーククローネ=17.18円、1ユーロ=128.04円、1香港ドル=14.09円。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年6月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,629,833,430
コール・ローン等	18,296,814
野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド(評価額)	1,541,536,616
未収入金	70,000,000
(B) 負債	75,157,823
未払収益分配金	56,983,283
未払解約金	3,217,671
未払信託報酬	14,930,548
未払利息	32
その他未払費用	26,289
(C) 純資産総額(A-B)	1,554,675,607
元本	1,238,767,028
次期繰越損益金	315,908,579
(D) 受益権総口数	1,238,767,028口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,550円

(注) 期首元本額は1,326,949,098円、期中追加設定元本額は55,935,021円、期中一部解約元本額は144,117,091円、1口当たり純資産額は1,2550円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額8,253,880円。(野村・グリーン・テクノロジー・ファンド マザーファンド)

## ○損益の状況 (2017年6月20日～2018年6月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 5,577
支払利息	△ 5,577
(B) 有価証券売買損益	101,236,007
売買益	108,838,487
売買損	△ 7,602,480
(C) 信託報酬等	△ 30,453,862
(D) 当期損益金(A+B+C)	70,776,568
(E) 前期繰越損益金	255,980,980
(F) 追加信託差損益金	46,134,314
(配当等相当額)	( 62,154,550)
(売買損益相当額)	(△ 16,020,236)
(G) 計(D+E+F)	372,891,862
(H) 収益分配金	△ 56,983,283
次期繰越損益金(G+H)	315,908,579
追加信託差損益金	46,134,314
(配当等相当額)	( 62,218,373)
(売買損益相当額)	(△ 16,084,059)
分配準備積立金	424,101,708
繰越損益金	△154,327,443

\* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年6月20日～2018年6月18日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年6月20日～ 2018年6月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	12,742,209円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	62,218,373円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	468,342,782円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	543,303,364円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,385円
g. 分配金	56,983,283円
h. 分配金(1万口当たり)	460円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	460円
-----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村・グリーン・テクノロジー・ ファンド マザーファンド

## 運用報告書

第9期（決算日2018年6月18日）

作成対象期間（2017年6月20日～2018年6月18日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、企業の成長性・収益性などの観点から定性評価に基づくファンダメンタルズ分析を行い、投資銘柄を選別します。また、バリュエーション、流動性等を考慮し、ポートフォリオを構築します。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の20%以内とします。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	株組入比率	株先物比率	純資産額
	騰落	中率				
5期(2014年6月18日)	円 15,086	% 32.7	141.54	% 44.3	% 97.2	百万円 2,858
6期(2015年6月18日)	17,981	19.2	172.99	22.2	92.9	2,574
7期(2016年6月20日)	13,330	△25.9	131.99	△23.7	96.3	1,663
8期(2017年6月19日)	16,513	23.9	169.40	28.3	97.5	1,644
9期(2018年6月18日)	17,621	6.7	186.73	10.2	98.1	1,541

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数(=FTSE ET50インデックス (Total Return Index/円換算ベース))は、FTSE ET50インデックス (Total Return Index/ドルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。設定時を100として指数化しております。  
\*FTSE ET50インデックスは、FTSEの商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利はFTSE及び/又は、そのライセンス提供者に帰属します。  
(出所: FTSE、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

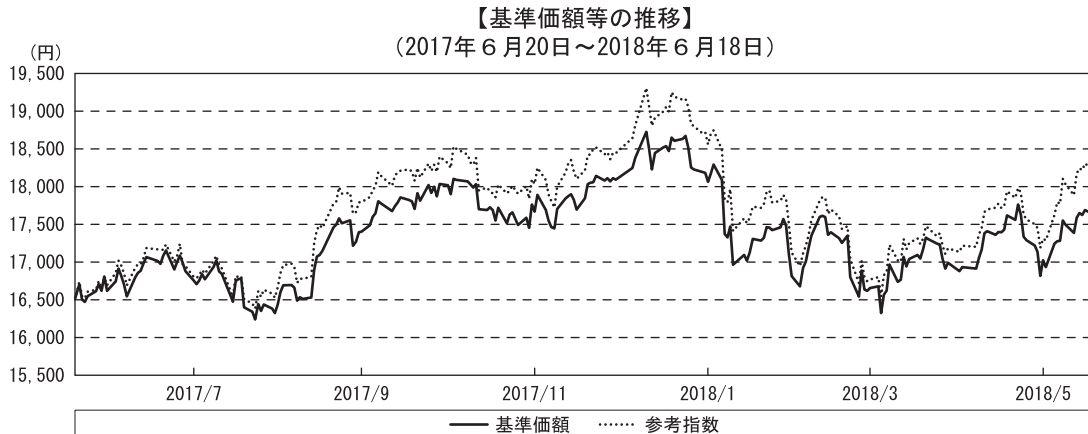
年月日	基準価額		参考指数	株組入比率	株先物比率
	騰落	率			
(期首) 2017年6月19日	円 16,513	% -	169.40	% -	% 97.5
6月末	16,619	0.6	171.25	1.1	97.7
7月末	16,756	1.5	172.39	1.8	96.4
8月末	16,602	0.5	172.90	2.1	96.5
9月末	17,403	5.4	182.55	7.8	97.2
10月末	17,900	8.4	187.17	10.5	97.9
11月末	17,670	7.0	185.01	9.2	99.0
12月末	18,093	9.6	189.19	11.7	96.4
2018年1月末	18,064	9.4	190.40	12.4	97.4
2月末	17,484	5.9	182.92	8.0	97.8
3月末	16,657	0.9	172.03	1.6	98.1
4月末	16,991	2.9	176.27	4.1	98.9
5月末	17,025	3.1	177.59	4.8	98.3
(期末) 2018年6月18日	17,621	6.7	186.73	10.2	98.1

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首16,513円から期末17,621円となりました。

- ・ 2017年9月、トランプ米政権の税制改革案の発表やECB（欧州中央銀行）による2017年のユーロ圏経済見通しの上方修正などが好感され、株式市場が上昇したこと。また為替市場で、米利上げ観測の高まりやECBの金融緩和策の縮小観測を背景に、為替レートが主要通貨に対して円安となったこと。
- ・ 10月、堅調な欧米企業決算や米税制改革の期待感への高まり、さらにはECBが量的金融緩和の縮小を慎重に進める姿勢を見せたことなどが好感され、株式市場が上昇したこと。
- ・ 12月、市場予想を上回る米雇用統計や米税制改革法案成立への期待感を受け、株式市場が上昇したこと、ドル高・円安となったこと。また、ドイツによる2018年の国債増発計画の発表などを背景に欧州長期金利が上昇し、ユーロ高・円安となったこと。
- ・ 2018年2月、米長期金利が上昇したことや株式の価格変動率が高まったことを背景に投資家心理が悪化し、株式市場が下落したこと。また為替市場で、世界的な株安を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、ECBの金融政策の正常化に対する慎重な姿勢や欧州政治情勢の先行き不透明感を背景に、為替レートが主要通貨に対して円高となったこと。
- ・ 3月、米中貿易摩擦への懸念や3月のユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が市場予想を下回ったことを受け、株式市場が下落したこと。また為替市場で、米通商・外交政策への不透明感の高まりから、為替レートが主要通貨に対して円高となったこと。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

株式への投資比率は概ね高位の組み入れを維持しました。

### ・期中の主な動き

- (1) 世界各国（新興国を含みます。）のグリーン・テクノロジー企業※の株式を実質的な主要投資対象として参りました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、企業の成長性・収益性などの観点から定性評価に基づくファンダメンタルズ（基礎的諸条件）分析を行い、投資銘柄を選別し、また、バリュエーション（投資価値評価）、流動性等を考慮し、ポートフォリオを構築して参りました。
- (3) 米国の電子部品メーカーの株式を新規に買い付けした一方、スペインの発電所運営会社の株式を全売却しました。

※なお、当ファンドにおいて、グリーン・テクノロジー企業とは、環境保全に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業を指します。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

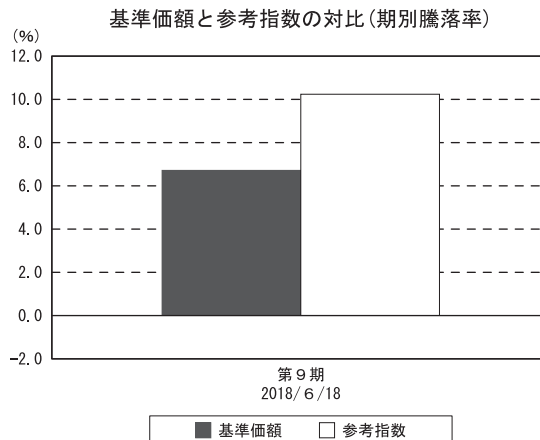
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているFTSE ET50インデックス（Total Return Index/円換算ベース）の10.2%の上昇に対し、基準価額の騰落率は6.7%の上昇となりました。

### (主な差異要因)

- ・オーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていた米国の半導体製造メーカーの株式が、市場を下回って推移したことがマイナスに影響しました。



(注) 参考指数は、FTSE ET50インデックス（Total Return Index/円換算ベース）です。

## ◎今後の運用方針

- ・当ファンドは、環境配慮型エネルギー、環境汚染防止、清浄な水資源といった3つの主要なテーマに基づき様々なグリーン・テクノロジーをテーマとする銘柄に投資します。
- ・これらの関連分野で長期的な恩恵を受ける実績のある技術を主導し、助成金に頼らない企業に投資することを継続します。なかでも、自動化やエネルギー効率化、排ガス規制などの投資テーマに一致する銘柄を選好していきたいと考えています。
- ・また、トレンドのみに追随することなく、長期的な観点から個別企業のファンダメンタルズとバリュエーションを注視しつつ、慎重に銘柄選択を行っていきます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年6月20日～2018年6月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	円 2 ( 2 )	% 0.013 (0.013)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	11 (11) ( 0 )	0.066 (0.065) (0.001)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	13	0.079	
期中の平均基準価額は、17,272円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○売買及び取引の状況

(2017年6月20日～2018年6月18日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 52 (17)	千米ドル 790 ( )	百株 278	千米ドル 1,609
	イギリス	—	千英ポンド —	135	千英ポンド 200
	スイス	— (—)	千スイスフラン — (△0.8163)	4	千スイスフラン 118
	デンマーク	—	千デンマーククローネ —	8	千デンマーククローネ 391
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
国	ドイツ	13 (—)	88 (△ 1)	11	64
	フランス	20 (—)	117 (△ 6)	43	108
	スペイン	—	—	11	14
	ベルギー	— (36)	— ( )	7	34
	オーストリア	39	183	1	8
	ポルトガル	—	—	424	287
	香港	— (—)	千香港ドル — (△ 16)	3,780	千香港ドル 1,708

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2017年6月20日～2018年6月18日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	458,374千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,610,619千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.28

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年6月20日～2018年6月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年6月18日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	当期株数	期末評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
			千米ドル	千円	
(アメリカ)	百株	百株			
ACUITY BRANDS INC	20	18	220	24,404	電気設備
ALBEMARLE CORP	—	26	248	27,449	化学
AMERICAN WATER WORKS CO INC	26	10	82	9,176	水道
AMETEK INC	48	43	324	35,892	電気設備
CREE INC	10	9	46	5,127	半導体・半導体製造装置
DANAHER CORP	28	25	257	28,462	ヘルスケア機器・用品
DONALDSON CO INC	71	64	306	33,942	機械
ECOLAB INC	22	20	293	32,412	化学
FIRST SOLAR INC	65	58	298	33,033	半導体・半導体製造装置
FLOWSERVE CORP	36	32	134	14,859	機械
FORTIVE CORP	14	12	101	11,276	機械
HEXCEL CORP	80	71	510	56,398	航空宇宙・防衛
IPG PHOTONICS CORP	—	10	249	27,551	電子装置・機器・部品
IDEX CORP	29	21	314	34,735	機械
LKQ CORP	38	—	—	—	販売
LITTELFUSE INC	—	7	174	19,300	電子装置・機器・部品
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	167	149	177	19,629	機械
ON SEMICONDUCTOR CORPORATION	70	62	160	17,768	半導体・半導体製造装置
REGAL-BELOIT CORP	3	—	—	—	電気設備
ROPER TECHNOLOGIES INC	16	14	407	45,093	コングロマリット
SUNPOWER CORP	143	127	97	10,780	半導体・半導体製造装置
TENNECO INC	73	44	207	22,892	自動車部品
TESLA INC	34	34	1,218	134,768	自動車
TRIMBLE INC	127	113	403	44,593	電子装置・機器・部品
VEECO INSTRUMENTS INC	93	83	140	15,547	半導体・半導体製造装置
WATTS WATER TECHNOLOGIES -A	31	28	225	24,940	機械
WOODWARD INC	50	44	353	39,032	機械
XYLEM INC	166	134	962	106,417	機械
PENTAIR PLC	19	17	74	8,254	機械
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	—	33	180	19,991	電気設備
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	37	—	—	—	電気設備
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,530 27	1,321 28	8,173 —	903,731 <58.6%>
(イギリス)			千英ポンド		
SPECTRIS PLC	54	48	137	20,139	電子装置・機器・部品
SENIOR PLC	697	621	193	28,385	航空宇宙・防衛

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	241	215	164	24,067	水道
SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC	85	64	421	61,769	機械
JOHNSON MATTHEY PLC	61	54	205	30,095	化学
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,139 5	1,004 5	1,121 —	164,456 <10.7%>
(スイス)			千スイスフラン		
GEBERIT AG-REG	5	3	156	17,334	建設関連製品
AMS AG	23	21	186	20,684	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	29 2	24 2	342 —	38,018 <2.5%>
(デンマーク)			千デンマーククローネ		
VESTAS WIND SYSTEMS A/S	80	71	3,016	51,827	電気設備
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	80 1	71 1	3,016 —	51,827 <3.4%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
GEA GROUP AG	18	16	51	6,602	機械
BRENTAG AG	27	24	125	16,081	商社・流通業
OSRAM LIGHT AG	57	63	324	41,498	電気設備
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	103 3	104 3	501 —	64,182 <4.2%>
(ユーロ…フランス)					
SCHNEIDER ELECTRIC SE	32	28	217	27,837	電気設備
BUREAU VERITAS SA	140	124	289	37,091	専門サービス
SUEZ	194	173	200	25,658	総合公益事業
VALEO SA	21	37	202	25,868	自動車部品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	388 4	365 4	909 —	116,456 <7.6%>
(ユーロ…スペイン)					
SIEMENS GAMESA RENEWABLE ENERGY SA	105	94	123	15,823	電気設備
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	105 1	94 1	123 —	15,823 <1.0%>
(ユーロ…ベルギー)					
UMICORE	37	—	—	—	化学
UMICORE	—	67	339	43,483	化学
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	37 1	67 1	339 —	43,483 <2.8%>
(ユーロ…オーストリア)					
ANDRITZ AG	—	37	164	21,102	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	37 1	164 —	21,102 <1.4%>
(ユーロ…ポルトガル)					
EDP RENOVAVEIS SA	424	—	—	—	独立系発電事業者・エネルギー販売業者
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	424 1	— —	— —	— <—%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,059 10	668 10	2,038 —	261,048 <16.9%>
(香港)			千香港ドル		
CHINA EVERBRIGHT INTL LTD	2,030	1,810	1,965	27,696	商業サービス・用品
BEIJING ENTERPRISES WATER GR	4,220	2,140	977	13,779	水道
GCL POLY ENERGY HOLDINGS LTD	8,140	7,260	551	7,774	半導体・半導体製造装置
CHINA LONGYUAN POWER GROUP-H	4,530	4,030	2,764	38,952	独立系発電事業者・エネルギー販売業者

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数		評 価 額
				外貨建金額	邦貨換算金額
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
HUANENG RENEWABLES CORP-H	1,300	1,200	360	5,072	独立系発電事業者・エネルギー販売業者
小 計	株 数 ・ 金 額	20,220	16,440	6,619	93,275
	銘柄 数 < 比 率 >	5	5	—	< 6.1% >
合 計	株 数 ・ 金 額	24,059	19,531	—	1,512,358
	銘柄 数 < 比 率 >	50	51	—	< 98.1% >

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2018年6月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,512,358	% 93.8
コール・ローン等、その他	99,203	6.2
投資信託財産総額	1,611,561	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建て純資産（1,610,232千円）の投資信託財産総額（1,611,561千円）に対する比率は99.9%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.57円、1英ポンド=146.65円、1スイスフラン=110.85円、1ノルウェークローネ=13.56円、1デンマーククローネ=17.18円、1ユーロ=128.04円、1香港ドル=14.09円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年6月18日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	1,759,531,385
コール・ローン等	96,451,733
株式(評価額)	1,512,358,610
未収入金	148,325,299
未収配当金	2,395,743
(B) 負債	218,014,896
未払金	148,014,894
未払解約金	70,000,000
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	1,541,516,489
元本	874,829,247
次期繰越損益金	666,687,242
(D) 受益権総口数	874,829,247口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,621円

(注) 期首元本額は995,795,828円、期中追加設定元本額は48,471,431円、期中一部解約元本額は169,438,012円、1口当たり純資産額は1.7621円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・野村・グリーン・テクノロジー・ファンド 874,829,247円

## ○損益の状況 (2017年6月20日～2018年6月18日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	18,777,188
受取配当金	18,662,297
受取利息	122,702
支払利息	△ 7,811
(B) 有価証券売買損益	90,955,439
売買益	227,986,636
売買損	△137,031,197
(C) 保管費用等	△ 1,084,471
(D) 当期損益金(A+B+C)	108,648,156
(E) 前期繰越損益金	648,537,505
(F) 追加信託差損益金	35,413,569
(G) 解約差損益金	△125,911,988
(H) 計(D+E+F+G)	666,687,242
次期繰越損益金(H)	666,687,242

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2018年6月18日現在)

年 月	日
2018年6月	-
7月	4
8月	27
9月	3
10月	3
11月	22
12月	25、26

※2018年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識している情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。